

所属研究団体日本遺伝学会 平成30年度 事業計画書

事業計画の概要

本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及をはかるため、下記諸事業を計画する。

1. 学会誌Genes & Genetic Systemsの発行(隔月1回)
 - (1) Vol 92 No. 4~No. 6および Vol 93 No. 3を発行する。
 - (2) 日本出版貿易を通じて、国内外の購読機関に頒布する。
 - (3) 別刷論文の注文を受ける。
 - (4) すぐれた論文を発表した著者にGGs PRIZE 2018を授与する。

2. 年次大会の開催(第90回大会を奈良先端科学技術大学院大学にて開催)
 - (1) 学会員を対象とした一般口頭発表および学生会員を対象としたポスター発表を開催する。
 - (2) 海外より研究者を招聘し、国際シンポジウムを開催する。
 - (3) 公募による特定のテーマでのワークショップを開催する。
 - (4) 大会で発表する学生の大会参加旅費の一部を援助する。
 - (5) 男女共同参画推進の一環として大会へ参加するための支援を行う。
 - (6) 第89回大会Best Paper賞受賞者によるプレナリーワークショップを開催する。
 - (7) 一般口頭発表者から優れた成果を発表した者をBest Paper賞候補者として選考する。
 - (8) ポスター発表者(学部学生、修士課程の学生)からすぐれた発表を行った者にポスター賞(Young Best Poster賞)を授与する。
 - (9) 台湾(Academia Sinica)から学生2名を招聘し、大会での口頭発表や議論を通じて国際交流をはかる。また、大会後の日本人研究者への研究室訪問の支援を行う。
 - (10) 市民公開講座を最終日に開催する。

3. 木原賞・奨励賞の授与
 - (1) 遺伝学の分野で特に顕著な業績をあげた会員に木原賞を授与する。
 - (2) 遺伝学の特定の分野で優れた研究を活発に行い、将来の成果が期待される会員に奨励賞を授与する。

4. 遺伝学談話会の開催
各地区の会員の交流を目的に遺伝学談話会を開催する。

5. 委員会の活動等
 - (1) 遺伝学教育用語検討委員会
遺伝学領域における用語の問題を再検討し、新時代にマッチした用語集の編纂の検討を進め、新たな遺伝学用語集「遺伝単」を平成29年秋に発行した。今後も引き続き遺伝学に関する学術教育用語の整理を進めるため、用語編集委員会の後継として「遺伝学教育用語検討委員会」を設置した。

(2) 男女共同参画推進委員会

本学会は男女共同参画推進学協会連絡会に加盟しており、「女子中高生夏の学校」への講師の派遣および関西科学塾への支援を行う。

(3) 生物科学学会連合

本学会は「生物科学」の健全な発展のために各学協会と協力し活動を行っている。本年度は、加盟している 31 団体で合同年次大会の開催を予定している。

(4) 自然史学会連合

本学会は自然史科学の研究・教育の振興を目的として、動物学・植物学・地学など主に基礎的な野外研究に関連する学会と協力して、関幅広い活動を進めている。

(5) シニア科学アカデミーの活動支援

退職したシニア研究者の研究活動を支援する。

所属研究団体日本遺伝学会
平成30年度 収支予算書

A. 収入の部

(単位千円)

摘要	予算
1 学会費	6,000
2 賛助会費	20
3 科学研究費補助金	4,000
4 事業収入	6,751
雑誌売上	700
別刷売上	1,550
学術集会事業収益	4,500
利息	1
5 木原基金	200
6 雑収入	336
小計	15,307
総計	15,307

B. 支出の部

(単位千円)

摘要	予算
1 事業費	6,565
雑誌製作費	4,440
学術集会事業費	5,500
遺伝学談話会補助費	200
大会学生旅費補助	800
協力委員会分担金	125
2 評議委員会／幹事会費	804
3 事務費	4,024
雑誌発送費	396
封筒代	192
編集経費	2,400
事務所経費	1036
4 学会賞関係費	384
5 選挙関係費	0
6 謝金	1,030
小計	15,307
総計	15,307